

平成30年度第2回羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議録

日時 平成30年8月29日(水) 19:00~21:10

場所 羽咋市役所 401会議室

出席者

- 委員長 : 岩城 和男 (羽咋市社会福祉協議会会長)  
副委員長 : 釜谷 伸 (羽咋市町会長連合会会長)  
委員 : 松永 義民 (羽咋市商工会理事)  
若城 はる美 (羽咋市観光協会協会専務理事)  
武田 広 (はくい農業協同組合総務部長)  
安達 吏和 (羽咋市教育委員会教育委員)  
加藤 友彦 (日本政策金融公庫金沢支店支店長)  
中村 史人 (羽咋市銀行会 : のと共栄信用金庫  
ふるさと支援室次長)  
上田 清春 (羽咋地域ライフ・サポートセンター羽咋事務局長)  
圓山 晃歩 (株式会社御祓川)  
大門 留美 (公募委員 : 一般)  
酒井 恵美 (羽咋市青年団協議会直前会長)  
新田 聡 (公募委員 : 一般)  
欠席委員 : 春木 謙一郎 (七尾公共職業安定所羽咋出張所所長)  
大林 浩 (創和テキスタイル株式会社代表取締役社長)  
稲垣 賢一 (株式会社北國新聞社羽咋総局長)  
小塚 泉 (株式会社北陸中日新聞羽咋市局局長)  
出村 太一 (羽咋郵便局千里浜郵便局長)  
目ヶ谷 直人 (羽咋市校長会羽咋中学校校長)  
河島 佳江 (羽咋市各種女性団体連絡協議会会長)  
松永 一美 (NPO 法人わくわくネットはくい理事)  
オブザーバー : 青木 哲雄 (石川県中能登総合事務所所長)  
市側出席者 : 中田 裕之 (総務部長 羽咋市まち・ひと・しごと創生本部事務局長)  
川口 哲治 (総務部次長 企画財政課長)  
若狭 義高 (市民福祉部長 健康福祉課長)  
西井 健一 (教育委員会事務局 教育次長)  
和田 美紀 (総務課参事)  
和田 正美 (健康福祉課参事)  
奥 利明 (地域整備課長)  
滝口 一彦 (生涯学習課長)

濱名 和久 (学校教育課 学務担当課長)  
片山 みゆき (地域包括ケア推進室長)  
岡嶋 克己 (企画財政課課長補佐)  
中島 一明 (羽咋市まち・ひと・しごと創生本部事務局局長補佐)  
瀧辺 晃一 (羽咋市まち・ひと・しごと創生本部事務局主事)  
石本 哲也 (羽咋市まち・ひと・しごと創生本部事務局主事)  
垣浦 友紀 (羽咋市まち・ひと・しごと創生本部事務局主事)

会議傍聴者 : なし

#### 審議事項

##### 1. 開会

##### 2. 委員長挨拶

(略)

##### 3. がんばる羽咋創生総合戦略の効果検証、評価について

###### (1) 事務局説明

(略)

###### (2) 意見交換・まとめ(90分間)

(略)

###### (3) 各施策の効果検証・評価の決定

(略)

##### 4. 講評

【オブザーバー：石川県中能登総合事務所 青木 哲雄 所長】

石川県中能登総合事務所長の青木でございます。皆さん大変お疲れ様でございます。重点審査の対象となりました7施策について、それぞれ委員さんの方からたくさんのご意見・ご質問が出て、熱心な議論が交わされました。

今ほど、各施策の評価結果が全て承認されましたが、中には議論の過程で評価が変わった項目もございました。皆さんの羽咋市に対する想いというものが伝わってきました。今回も前回と同様に委員全員での審査となりましたし、事前に審査して頂き、事務局の方でまとめたということで、時間的にスムーズに進んだというふうに思っております。

また、本日の会議におきましても、事務局の方から事前に皆様から頂いておりますご意見・ご質問についての的確な回答や説明がされました。その過程で、事務局の方から見直しの

方向性や、「こんな形で」というご提案もあったかと思えます。

逆に、委員の皆さんからの、具体的にこうすればどうか、という意見もたくさんあったかと思えます。県という立場からして、皆さんのご意見を尊重する立場でありますので具体的に、ああこうという立場ではないのですが、ご参考になればと思ひまして、本日議論いただきました中で、県でも同じような対策をしているものがありますのでいくつかご紹介したいと思ひます。

通し番号2の「男女共同参画の推進」で「審議会等における女性登用率」の向上というのがございます。これは、県も同様に取り組んでおります。県の場合は審議会がたくさんあるのですが、条例や法令必置のものもありますし、任意のものもあります。委員構成を見ても、公務のあて職をあてるというものもありますし、団体の長を最初から指定してあるものもございます。こういったものはどうしても、どなたがなられるかによって限られてくる場合もございます。

それから、分野に明るい方ということで団体から推薦を頂く場合もございます。そういった中で女性委員を増やしていくにはどうすればいいのかということで、私どもの担当しておりました課では審議会がいくつかありまして、あて職の場合は仕方ない場合がありましたが、羽咋市さんがされていますように、公募枠を増やすという手法も取られました。それから、団体の方には、「ぜひ女性の方をお願いしたい。」と個別にお願いしたこともございます。女性団体や婦人団体からお越し頂く、という枠も新たに作ることで、ほとんどの委員が女性ということも可能になるかと思ひます。そういったふうに対応していることもございます。

「企業や団体のトップの方に女性を登用してください。」という意識啓発のようなものも行っております。このような地道な取り組みを続けていけば、登用率の向上につながるのではないかと考えております。施策自体は大切なことだと思うのですが、KPI が登用率だけに縛られているので、上がったり、下がったりしてしまいます。しかし、その数字の動きが施策全体を否定するということにはならないと思ひますので、施策自体はどんどん進めていく必要があると思ひます。県でも同様に取り組んでいるものでもありますし、皆さん異論はないかと思ひます。

それから、通し番号3の国際的に活躍できる人材の「卵」の育成についてです。

羽咋市には中学校が2つあると承知しております。学校現場でどう考えているのかということが一番大切なことだと思うのですが、県でも、金沢錦丘中学校という中高一貫校がございます。この学校のメリットは中高一貫ということで高校受験がなく、時間のゆとりがあることで、学校評価計画の中で資格取得を積極的に進めましょうという観点から、英検の取得率について、目標値を立てて、評価基準の一つにしております。

また、移住・移転、空き地については、東京や金沢にありますILACというところで、ここ数年、県でも精力的に取り組んでおりますし、県内・市町の皆さんとも連携を取りながら行っていると承知しております。情報があればどんどんそちらの方にご相談いただければ

よろしいのではないかと考えております。いくつかご紹介申し上げましたが、大体的話とすれば、この前も申し上げましたが、今回の総合戦略の期間は5年ということで、今年は4年目となります。今年度の施策の実施も4か月余り経ちました。残り1年数か月で、この計画期間は満了ということになります。本日お話ありました内容について、市の方では時期的に言えば予算編成の時期に入るのであるかと思います。委員の皆さんから寄せられたご意見を、今年度の事業も含めてですが、来年度以降に活かしていくということが大切であると考えておりますので、しっかり対応していただきたいと思っております。以上になります。

5. その他(事務連絡等)

(略)

6. 閉会